

2009年度

科目名	社会調査方法論		
担当教員	小西 宏幸		
配当	教福2	コード	45000
開期	通年	講時	木曜日5限
		単位数	4
授業テーマ	社会現象を実証的に調査する方法を学ぶ。		
目的と概要	社会科学における調査方法の種類やその長短、データ収集の際の留意点やデータ分析の最低限の知識などを目指します。		
成績評価法	試験(70%) + 平常点(30%) 平常点は、レポート提出などによって加味します。		
テキスト	酒井 隆著 アンケート調査と統計解析がわかる本 日本能率協会マネジメントセンター		
参考書	その都度、紹介します。		
履修に当たっての注意・助言	この科目は、情報処理に関する演習や実習を履修していると、より理解は深まると思います。なお、講義内容は必ずしもテキストの順序どおりには進行しません。		
講義計画			
第1回 実証科学と社会調査 第2回 調査手段:面接法、観察法、質問紙法の長短 第3回 非構造化面接法、構造化面接法、半構造化面接法と質問紙作成の関係 第4回 観察法の種類と実験的要素 第5回 調査論に必要な概念:信頼性と妥当性の知識 第6回 調査方法の種類:郵送調査法や電話調査法 第7回 調査項目の選定について 第8回 量的データと質的データの基礎知識 第9回 サンプルング(1)母集団と標本 第10回 サンプルング(2)無作為抽出とは? 第11回 サンプル数と変数(要因)の数について 第12回 社会現象における因果関係と相関関係 第13回 外的基準とは?:独立変数と従属変数の意味 第14回 歪曲反応の問題 第15回 前半のまとめ 第16回 記述的統計とは?:代表値の基礎知識 第17回 社会現象と正規分布 第18回 パラメトリックな分析とノン・パラメトリックな分析とは? 第19回 推測統計学とは? 第20回 相関係数と説明力 第21回 さまざまな相関係数 第22回 有意差検定の基礎知識 第23回 独立性のデータと連関性のデータ 第24回 平均値の差の検定 第25回 頻度の差の検定 第26回 単回帰分析と多変量解析 第27回 要因配置計画とは? 第28回 分散分析の基礎知識(1):主効果と交互作用について 第29回 分散分析の基礎知識(2):他の多変量解析との異同 第30回 まとめ			